

教科 [保健体育] 種目 [保健体育]

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科 [保健体育] 種 目 [保健体育]

2 本市の実態や生徒の状況

- 本市は、各区にスポーツセンターが設置されているとともに、全国大会を開催することができる陸上競技場や体育館等の施設が充実しており、プロをはじめ、トップレベルのスポーツチームが数多くあることから、優れたプレーを間近に観戦できる地域である。また、近年は「平成30年7月豪雨」をはじめとした、自然災害が多く発生していることから、災害への知識と備えが必要な地域でもある。
- 平成31年度の「全国体力・運動能力・運動習慣調査」によると、本市の生徒の体力の実態は、同調査の全国平均及び平成21年度の本市平均と比較すると、筋持久力、柔軟性、敏捷性などに改善が見られるが、筋力、全身持久力に課題が見られる。また、運動することが好きな生徒が多い一方、習得した知識や技能を活用して課題解決することや、学習したことを相手に分かりやすく伝えようとするところが課題である。

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	<ul style="list-style-type: none"> ① 運動や健康・安全に関する知識・技能の定着を図るための工夫 ② 他の小単元や分野等と関連付けて、基礎知識を深めるための工夫
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	<ul style="list-style-type: none"> ③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返り次につなげたりするための工夫 ④ 習得した知識や技能を活用して課題解決につなげるための工夫
＜内容の構成・配列・分量＞	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量 ⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況
＜内容の表現・表記＞	<ul style="list-style-type: none"> ⑦ 本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方
＜言語活動の充実＞	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ コミュニケーション能力や論理的思考力を高めるための工夫

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

様式2

1 教科〔保健体育〕種目〔保健体育〕
2 調査・研究の観点及び教科用図書の特徴

観点	発行者			
	東京書籍	大日本図書	大修館書店	学研教育みらい
① 運動や健康・安全に関する知識・技能の定着を図るための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○ 習得すべき基本用語を「キーワード」として各小単元の左上に示すとともに、本文中に太文字で強調している。また、巻末で「キーワードの解説」として用語の説明を示している。 ○ 説明が必要な本文の用語に、丸番号のルビを振り、見開き両端にその説明を掲載している。 ○ 各章末の「確認の問題」で、知識・技能の習得を確認する問題を設けている。 ○ 各小単元で学習内容に関連した「資料」が示されており、資料を読みとるためのポイントとして、「ポイントマーク」を付している。また、「読み物」で学習内容に関連した話題や読み物資料を示している。 ○ 「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」の章末資料で、体力の要素を高める運動例と、行う目安との関係で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 習得すべき基本用語を「キーワード」として各小単元の右下に示すとともに、本文中に太文字で強調している。 ○ 説明が必要な本文の用語に、星印と数字のルビを振り、本文下にその説明を掲載している。 ○ 各章末の「学習のまとめ」で、学習内容を整理して示している。 ○ 各小単元で学習内容に関連した「資料」が示されており、資料を読みとるためのポイントとして、「よみ取るマーク」を付している。また、「コラム」、「事例」、「ほり下げ」で学習内容に関連した話題や読み物資料を示している。 ○ 「運動やスポーツの体と心への効果」の特設ページ「クローズアップ」で、体力の要素を体づくり運動との関係で示すとともに、体力向上のための計画を立てる学習活動を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 習得すべき基本用語を「キーワード」として各小単元の右上に示すとともに、本文中に太文字で強調している。また、巻末で「用語の解説」として用語の説明を示している。 ○ 説明が必要な本文の用語に、丸番号のルビを振り、本文近くにその説明を掲載している。 ○ 各章末の「章のまとめ」で、知識・技能の習得を確認する「知識・技能の確認問題」を設けている。 ○ 各小単元で学習内容に関連した「資料」が示されており、資料を読みとるためのポイントとして、「よみ取るマーク」を付している。また、「コラム」、「事例」、「ほり下げ」で学習内容に関連した話題や読み物資料を示している。 ○ 「運動やスポーツの体と心への効果」の特設ページ「クローズアップ」で、体力の要素を体づくり運動との関係で示すとともに、体力向上のための計画を立てる学習活動を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 習得すべき基本用語を「キーワード」として各小単元の左上に示すとともに、本文中に太文字で強調している。 ○ 説明が必要な本文の用語に、四角番号のルビを振り、各ページ右側にその説明を掲載している。 ○ 各章末の「確かめよう」で、知識・技能の習得を確認する問題を設けている。 ○ 各小単元で学習内容に関連した「資料」が示されており、資料を読みとるためのポイントとして、「情報サブプリ」で学習内容に関連した話題や読み物資料を示している。 ○ 巻末資料で体力の測定とその活用例を示している。
② 他の小単元や分野等と関連付けて、基礎知識を深めるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他の小単元や分野等と関連がある学習内容について、「リンクマーク」、「他教科マーク」で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他の小単元や分野等と関連がある学習内容について、「リンクマーク」、「他教科マーク」、「家マーク」、「地域マーク」で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他の小単元や分野等と関連がある学習内容について、「関連マーク」、「他教科マーク」で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他の小単元や分野等と関連がある学習内容について、「関連マーク」で示している。また、巻末で「キーワード」で見える保健体育の学習内容として、他の小単元や分野等との関連を整理している。

観点	東京書籍	大日本図書	大修館書店	学研教育みらい
<p>③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫</p>	<p>○ 口絵に、今日的な話題に関わる写真を8ページにわたり掲載している。 ○ 各章扉の「この章で学習すること」で、学習内容、目次、小学校及び高等学校で関連する学習内容を示している。 ○ 学習の流れを「見つける」、「学習課題」、「課題の解決」、本文、「発問」、「活用する」、「広げる」として、見通しを持たせよう示している。</p>	<p>○ 口絵に、今日的な話題に関わる写真を12ページにわたり掲載している。 ○ 各章扉の「この章で学習すること」で、学習内容、小学校及び高等学校で関連する学習内容を示している。 ○ 学習の流れを「学習のねらい」、「つかもう」、本文、「(やってみよう)」、「話し合ってみよう)」、「調べてみよう)」、「活用して深めよう」として、見通しを持たせよう示している。</p>	<p>○ 口絵に、今日的な話題に関わる写真を8ページにわたり掲載している。 ○ 各章扉の「この章で学習すること」で、学習内容、目次、小学校及び高等学校で関連する学習内容を示している。 ○ 学習の流れを「きょうの学習」、「課題をつかむ(意見を出そう)」、「(やってみよう)」、「(振り返ろう)」、「(考えよう)」、「(話しあおう)」、本文、「学習のまとめ(確認しよう)」、「(発表しよう)」、「(生かそう)」、「(話しあおう)」として、見通しを持たせよう示している。 ○ 各章末の「章のまとめ」に、学習を振り返って自己評価をするための「学習の振り返り」を設けている。</p>	<p>○ 口絵に、今日的な話題に関わる写真を10ページにわたり掲載している。 ○ 各章扉の「この章で学習すること」で、学習内容、小学校と高等学校で関連する学習内容を示している。 ○ 学習の流れを「学習の目標」、「課題をつかむ」、本文、「考える・調べる」、「まとめる・深める」として、見通しを持たせよう示している。 ○ 各章末の「章のまとめ」に、学習した内容を振り返り、自己評価をするための「振り返ろう」を設けている。</p>
<p>④ 習得した知識や技能を活用して課題解決につなげるための工夫</p>	<p>○ 各小単元の「広げる」で、学習したことを自分の生活に当てはめて考えたり、さらに調べたりする活動を示している。 ○ 各章末に、習得した知識や技能を活用して考える「活用の問題」を設けるとともに、日常生活に生かしたいことを記述するための「日常生活に生かそう」を設けている。</p>	<p>○ 各小単元の「活用して深めよう」で、学習したことを活用することで、学びを深め、今後の生活につなげていく活動を示している。 ○ 各章末に、学習したことを日常生活で活用するための問いと記述欄「学びを活かそう」を設けている。</p>	<p>○ 各小単元の「学習のまとめ」で、学習内容を確認したり、自ら考え、判断し、表現する力を身に付けたら、日常生活に生かすことができるような活動を示している。 ○ 各章末に、習得した知識や技能を活用して考える「思考・判断・表現の問題」を設けるとともに、学んだことをもとにして自分の課題を見つけて記述する「学びに向かって」を設けている。また、学習した知識を実生活に生かして考える課題として、「体育の窓」を1箇所、「保健の窓」を6箇所に示している。</p>	<p>○ 各小単元の「まとめ・深める」で、学習のまとめとして目標を立てたり、人に伝えたり、さらに考えたりするなどして深め、実生活につなげることができている。 ○ 各章末に、習得した知識を活用して考える間「生かそう」を設けるとともに、日常生活に生かしたいことを記述するための「生活への活用」を設けている。また、興味や関心などに応じて学習するための「もっと広げる深める」を5箇所に示している。 ○ 「心肺蘇生法」等、日常生活で活用するために必要な、実習の具体例を9箇所示している。 ○ 小単元「自然災害に備えて」、特設ページ「もっと広げる深める」、「探究しようよ!」で、自然災害による被害の防止について示すとともに、二次災害、緊急地震速報、ハザードマップ、災害伝言ダイヤル、警戒レベル、自然災害発生時の避難行動などを取り上げている。</p>
<p>観点2 主体的に学習に取り組む工夫</p>	<p>○ 「心肺蘇生の方法」等、日常生活で活用するために必要な、実習の具体例を7箇所示している。 ○ 小単元「自然災害による危険」、「自然災害による被害の防止」、発展「共に生きる」、章末資料で、自然災害による被害の防止について示すとともに、二次災害、緊急地震速報、ハザードマップ、災害伝言ダイヤル、警戒レベル、避難所生活、地域安全マップの作成などを取り上げている。</p>	<p>○ 「心肺蘇生法」等、日常生活で活用するために必要な、実習の具体例を15箇所示している。 ○ 小単元「自然災害による被害の防止」、資料、章末資料「学びを活かそう」で、自然災害による被害の防止について示すとともに、二次災害、緊急地震速報、ハザードマップ、災害伝言ダイヤル、日頃から備えておくこと、避難所でできることを考えようなどを取り上げている。</p>	<p>○ 「心肺蘇生法」等、日常生活で活用するために必要な、実習の具体例を10箇所示している。 ○ 小単元「自然災害による被害の防止」について示すとともに、二次災害、緊急地震速報、ハザードマップ、災害伝言ダイヤル、警戒レベル、警戒レベルなどを取り上げている。</p>	<p>○ 「心肺蘇生法」等、日常生活で活用するために必要な、実習の具体例を9箇所示している。 ○ 小単元「自然災害に備えて」、特設ページ「もっと広げる深める」、「探究しようよ!」で、自然災害による被害の防止について示すとともに、二次災害、緊急地震速報、ハザードマップ、災害伝言ダイヤル、警戒レベル、自然災害発生時の避難行動などを取り上げている。</p>

		発行者			
		東京書籍	大日本図書	大修館書店	学研教育みらい
視 点	⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量	○ 小単元を、2ページまたは4ページで構成し、保健編、体育編の順で配列している。 ○ サイズ AB判 重さ 約410g ○ 広島に関連する写真として、「豪雨により川のように流れる道路（広島市）」、「広島市民球場」を掲載している。	○ 小単元を、2ページまたは4ページで構成し、体育編、保健編の順で配列している。 ○ サイズ AB変形判 重さ 約434g ○ 「トピックス」、「章末資料」等で、「気候変動への対策」、「熱中症の予防と応急手当」など、発展的な内容の資料を15箇所示している。	○ 小単元を、2ページで構成し、体育編、保健編の順で配列している。 ○ サイズ AB判 重さ 約428g ○ 広島に関連する写真として、「カープ菊池選手」、「元サンフレッチェ浅野選手」、「自転車道（福山市）」を掲載している。	○ 小単元を、2ページまたは4ページで構成し、体育編、保健編の順で配列している。 ○ サイズ AB判 重さ 約420g ○ 広島に関連する写真として、「広島市健康科学館」、「大雨（広島市）」、「織田幹夫」、「災害支援（呉市）」を掲載している。
視 点	⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況	○ 「章末資料」、「読み物」等で、「さまざまな自然災害の危険と安全な避難」、「熱中症の予防と手当」など、発展的な内容の資料を18箇所示している。	○ 「トピックス」、「章末資料」等で、「気候変動への対策」、「熱中症の予防と応急手当」など、発展的な内容の資料を15箇所示している。	○ 「特集資料」、「コラム」等で、「気象災害から命を守る行動」、「熱中症の応急手当」など、発展的な内容の資料を18箇所示している。	○ 「章末資料」、「コラム」等で、「急な大雨や雷・竜巻から身を守るために」、「熱中症を疑ったときの対応」など、発展的な内容の資料を18箇所示している。
視 点	⑦ 本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方	○ 各小単元で、本文の記述・内容との関連付けがなされた、「学習課題」、「発問」、「活用する」のマークを付している。 ○ 「この教科書の使い方」でマークの活用方法を示しており、「キーワード」、「ポイント」、「DMマーク」等、14種類のマークを付している。	○ 各小単元で、本文の記述・内容との関連付けがなされた、「つかもう」、「(やってみよう)」、「(話し合ってみよう)」、「(調べてみよう)」、「活用して深めよう」のマークを付している。 ○ 「この教科書の使い方」でマークの活用方法を示しており、「資料」、「トピックス」、「WEBマーク」等、17種類のマークを付している。	○ 各小単元で、本文の記述・内容との関連付けがなされた、「課題をつかむ（意見を出そう）」、「(やってみよう)」、「(振り返ろう)」、「(考えよう)」、「(話し合おう)」、「(学習のまとめ(確認しよう)」、「(発表しよう)」、「(生かそう)」、「(話し合おう)」のマークを付している。 ○ 「この教科書の使い方」で、マークの活用方法を示しており、「キーワード」、「よみ取る」、「WEB保体情報館マーク」等、19種類のマークを付している。	○ 各小単元で、本文の記述・内容との関連付けがなされた、「課題をつかむ」、「考える・調べる」、「まとめる・深める」のマークを付している。 ○ 「この教科書の使い方」で、マークの活用方法を示しており、「キーワード」、「技能」、「教科書サイトマーク」等、19種類のマークを付している。
視 点	⑧ 本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方	○ 50件のウェブコンテンツにアクセスできるよう、巻頭にQRコードを掲載している。また、対応する箇所には「Dマーク」を付している。	○ 36件のウェブコンテンツにアクセスできるよう、巻頭にQRコードを掲載している。また、対応する箇所には「WEBマーク」を付している。	○ 30件のウェブコンテンツにアクセスできるよう、巻頭にQRコードを掲載している。また、対応する箇所には「WEB保体情報館マーク」を付している。	○ 31件のウェブコンテンツにアクセスできるよう、巻頭にQRコードを掲載している。また、対応する箇所には「教科書サイトマーク」を付している。

		発行者			
		東京書籍	大日本図書	大修館書店	学研教育みらい
視 点	③ コミュニケーション能力や論理的思考力を高めるための工夫	○ 巻頭の「保健体育の学習方法」で、「事例などを用いたディスカッション」、「ブレインストーミング」等の言語活動例を、イラストを交えて示している。 ○ 各単元の「活用する」で、事例を基に、運動や健康・安全に関する課題や解決方法をまとめる学習活動を示している。	○ 巻頭の「保健体育の学び方」で、「ブレインストーミング」、「ロールプレイング」等の言語活動例を、イラストを交えて示している。 ○ 各単元の「話し合ってみよう」、「活用して深めよう」で、事例を基に、運動や健康・安全に関する課題や解決方法をまとめる学習活動を示している。	○ 巻頭の「保健体育の学び方」で、「ブレインストーミング」、「ディスカッション」等の言語活動例を、イラストを交えて示している。 ○ 各単元の「課題をつかむ（意見を出そう）」、「やってみよう」、「振り返ろう」、「考えよう」、「話しあおう」、「学習のまとめ（確認しよう）」、「発表しよう」、「生かそう」、「話しあおう」で、事例を基に、運動や健康・安全に関する課題や解決方法をまとめる学習活動を示している。 ○ 特設ページ「特集資料」で、自身の経験等を基に話し合ったり、解決方法を考えたりする学習活動を示している。	○ 巻頭の「さまざまな学習方法」で、「事例を用いたディスカッション」、「ブレインストーミング」等の言語活動例を、イラストを交えて示している。 ○ 各単元の「考える・調べる」、「まとめる・深める」で、事例を基に、運動や健康・安全に関する課題や解決方法をまとめる学習活動を示している。 ○ 特設ページ「もっと広げる深める」、「探究しようよ！」で、自身の経験等を基に話し合ったり、解決方法を考えたりする学習活動を示している。
観 点	5 言語活動の充実				

教科 [技術・家庭] 種目 [技術分野]

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科、〔技術・家庭〕種目〔技術分野〕

2 本市の実態や生徒の状況

○ 本市は、鉄道や都市高速道路などの交通網が発達し、大型商業施設が誘致され、自動車産業や重工業に関連した多くの工場が立地する中国地方の経済・産業の拠点となっている地域である。

○ 生徒は、都市型の生活環境にあって、世の中の技術に触れる機会が多く、技術分野の学習への関心は高いが、年々、ものづくり体験は少なく、生活体験は個人差が大きくなってきているため、技術と生活や社会、環境との関係について理解し、知的財産を尊重しながら創意・工夫したり、問題解決学習を行ったりする力には課題がある。

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	① 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る工夫 ② 目標や振り返りの示し方の工夫
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫 ④ 学習過程の工夫
＜内容の構成・配列・分量＞	⑤ 題材や資料等の配列・分量 ⑥ 実践的・体験的な学習に関する内容
＜内容の表現・表記＞	⑦ 他教科や日常生活、社会との関連の示し方 ⑧ 本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方
＜言語活動の充実＞	⑨ 言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫

令和3年度から使用する中学校用教科用図書の調査・研究報告書

- 1 教科 [技術・家庭] 種 目 [技術分野]
 2 調査・研究の観点及び教科書の特徴

観点	発行者		
	東京書籍	教育図書	開隆堂出版
① 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る工夫	<p>○ 基本的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記している。</p> <p>○ 基礎的・基本的な技能について、「テックラボ」として工程ごとに示すとともに、内容「D情報の技術」においては、巻末資料として「コンピュータの基本操作」、「今すぐできるプログラミング手帳」を18ページで掲載している。</p> <p>○ 基礎的・基本的な技能のポイントを、「ポイント」マークを付して62箇所掲載している。</p> <p>○ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得状況を確認するために、各内容の「学習のまとめ」に「1 学習したことを確かめよう」を設けている。</p> <p>○ 学習の参考となる資料や解説を、「資料」マークを付して42箇所掲載している。</p> <p>【掲載例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鋼の熱処理 ・ 天然の水産資源を守るための工夫 ・ 新幹線の技術 ・ 無線 LAN にご用心 	<p>○ 基本的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記している。</p> <p>○ 基礎的・基本的な技能について、製作過程に沿って概要を示し、別冊の「技術ハンドブック」として工程ごとに掲載するとともに、内容「D情報の技術」においては、別冊に8ページで掲載している。</p> <p>○ 基礎的・基本的な技能のポイントを、「基礎技能」マークを付して42箇所掲載している。</p> <p>○ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得状況を確認するために、各内容の「編のまとめ」に評価問題を設けている。</p> <p>○ 学習の参考となる資料や解説を、「もっと知ろう」マークを付して39箇所（うち、技術ハンドブック4箇所）掲載している。</p> <p>【掲載例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地震への対応 ・ 生活の中にある機械の動作の例 ・ 写真からなぜ、撮影場所がわかるのか？ ・ 乳牛の飼育実習 	<p>○ 基本的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記している。</p> <p>○ 基礎的・基本的な技能について、工程ごとに示すとともに、内容「D情報の技術」においては、巻末資料として「コンピュータの基本操作」、「プログラミング」を18ページで掲載している。</p> <p>○ 基礎的・基本的な技能のポイントを、「動作のポイント」マークを付して21箇所掲載している。</p> <p>○ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得状況を確認するために、各内容の「学習のまとめ」に「学習をふり返ろう」を設けている。</p> <p>○ 学習の参考となる資料や解説を、「参考」マークを付して100箇所掲載している。</p> <p>【掲載例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金属の熱処理 ・ 故障・事故の予兆と対応 ・ マダイの習性と養殖技術 ・ 青少年に対するスマートフォン等のフィリタリング
② 目標や振り返りの示す方の工夫	<p>○ 学習の目標を「目標」で示すとともに、「キーワード」で関連する語句を示している。また、「まとめよう」や「生活に生かそう」で学習の振り返りを行い、6段階で自己評価できる欄を設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標の数 100個 ・ キーワードの数 133個 ・ 振り返りの数 56個 	<p>○ 学習の目標を「目標」で示すとともに、「キーワード」で関連する語句を示している。また「確認」で学習を振り返るチェック欄を設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標の数 91個 ・ キーワードの数 166個 ・ 振り返りの数 153個 	<p>○ 学習の目標を「学習の目標」で示すとともに、各内容の終わりの「学習のまとめ」で「科学的原理・法則」として関連する語句をまとめている。また、「振り返り」で学習の振り返りを行い、3段階で自己評価できるチェック欄を設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標の数 99個 ・ キーワードの数 113個 ・ 振り返りの数 54個

観点	規点2 主体的に学習に取り組む工夫	規点	規点	規点
③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫	<p>○ 技術の見方・考え方に気付いたり、働かせたりしながら学習を進めることができるように、「技術の天祥」マークを付して、技術の最適化について具体的な事例を掲載している。</p> <p>○ 学習内容と関わりのある話題を「技術の匠」のコーナーに掲載し、学習に生かせるようにしている。</p> <p>○ 問題解決の具体例に、「問題の発見」、「課題の設定」、「設計・製作」、「評価・改善」、「構想図」、「部品表」、「さまざまな課題解決の方法」を示し、生徒が問題解決を行う際の見通しを立てたり、学習の際の見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりすることについて例示している。</p> <p>【リモコンラックの例】</p> <p><問題の発見> 部屋の中でリモコンを紛失してしまふ。</p> <p><課題の設定> リモコンを立てかけて置いておくラックによって、決められた場所に収納できるようにする。</p>	<p>○ 技術の見方・考え方に気付いたり、働かせたりしながら学習を進めることができるように、技術の最適化について具体的な事例を掲載している。</p> <p>○ 学習内容と関わりのある話題を「技ピット」、「センパイ」に開いてみよう」のコーナーに掲載し、学習に生かせるようにしている。</p> <p>○ 問題解決の具体例に、「問題を発見する」、「目的や条件をもとに構想を考える」、「構想を具体化する」、「設計をまとめる」を示し、生徒が問題解決を行う際の見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりすることについて例示している。</p> <p>【ショベルカーのモデルの例】</p> <p><問題の発見> 効率よくものを拾って運ぶためには、どのような装置にするとよいか。</p> <p><目的や条件をもとに構想を考える> 今回は、コンローラを使ってロボットを動かそう。また、4速ギヤボックスを使った構想を考えてみよう。</p>	<p>発行者 教育図書</p> <p>○ 技術の見方・考え方に気付いたり、働かせたりしながら学習を進めることができるように、技術の最適化について具体的な事例を掲載している。</p> <p>○ 学習内容と関わりのある話題を「技ピット」、「センパイ」に開いてみよう」のコーナーに掲載し、学習に生かせるようにしている。</p> <p>○ 問題解決の具体例に、「問題を発見する」、「目的や条件をもとに構想を考える」、「構想を具体化する」、「設計をまとめる」を示し、生徒が問題解決を行う際の見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりすることについて例示している。</p> <p>【ショベルカーのモデルの例】</p> <p><問題の発見> 効率よくものを拾って運ぶためには、どのような装置にするとよいか。</p> <p><目的や条件をもとに構想を考える> 今回は、コンローラを使ってロボットを動かそう。また、4速ギヤボックスを使った構想を考えてみよう。</p>	<p>開隆堂出版</p> <p>○ 技術の見方・考え方に気付いたり、働かせたりしながら学習を進めることができるように、「トレードオフ」マークを付して、技術の最適化について具体的な事例を掲載している。</p> <p>○ 学習内容と関わりのある話題を「探究」のコーナーに掲載し、学習に生かせるようにしている。</p> <p>○ 問題解決の具体例に、「問題の発見」、「課題の設定」、「設計・製作」、「評価・改善」、「構想図」、「部品表」、「さまざまな課題解決の方法」を示し、生徒が問題解決を行う際の見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりすることについて例示している。また、「問題の発見」に「社会とのつながり」を併せて示すことで、生徒が自らの問題を発見する際の、社会とのつながりの考え方を例示している。</p> <p>【安全性を重視したふみ台の例】</p> <p><問題の発見> 幼い家族は洗面台に届かないので、以前使っていたいすの上に乗って顔を洗っていますが、高さがあっておらず危険です。また、いすが壊れそうです。</p> <p><社会とのつながり> ・ 幼児が安全に使用できる。【安全性の追求】</p> <p>・ 幼児が持ち運びやすい。【利便性の追求】</p> <p>・ 幼児が乗りやすい。【機能性の追求】</p> <p><課題の設定> 安全に使えるふみ台を製作して、顔を洗えるようにしよう。</p> <p><振り返りの視点> (評価・改善)</p> <p>・ 安全に使えるふみ台となったか。</p> <p>・ 持ち運びやすい作りになったか。</p> <p>・ 乗りやすいか。</p>
④ 学習過程の工夫	<p>○ 技術分野の学習過程の要素である「生活や社会を支える技術」、「技術による問題の解決」、「社会の発展と技術」の3つ全てを巻頭「技術分野の学習の流れ」において示し、説明している。</p> <p>○ 社会での問題解決の流れの例を、技術分野の問題解決の流れと併記して示している。</p> <p>○ 各内容とも「未来の Technology」、「学習のまとめ」の項目で学習を振り返り、学習した課題解決と生活や社会とのつながりについて考える内容を設けている。</p> <p>○ 第3学年で扱う統合的な問題解決については、内容A～Dとは別に「統合的な問題解決をしよう！」を設け、統合的な問題解決の学習について例示している。</p> <p>○ 内容A～Dを学習した後に「技術分野の学習を終えて」を掲載し、技術の学習を振り返るとともに、巻末に「SDGs と Technology」を掲載し、持続可能な社会の構築と技術の関係について確認できるようにしている。</p>	<p>○ 技術分野の学習過程の要素である「生活や社会を支える技術」、「技術による問題の解決」、「社会の発展と技術」の3つ全てを巻頭「技術分野の学習の流れ」において示し、説明している。</p> <p>○ 社会での問題解決の流れの例を、技術分野の問題解決の流れと併記して示している。</p> <p>○ 各内容とも「やってみよう」、「編のまとめ」の項目で学習を振り返り、これからの技術について考える内容を設けている。</p> <p>○ 第3学年で扱う統合的な問題解決については、内容A～Dとは別に「夢をかなえる技術」を設け、統合的な問題解決の学習について具体的に例示している。</p>	<p>○ 技術分野の学習過程の要素である「生活や社会を支える技術」、「技術による問題の解決」、「社会の発展と技術」の3つ全てを巻頭「技術分野の学習の流れ」において示し、各要素について4コマ漫画を使って説明するとともに、学習の流れのイメージ図を掲載している。</p> <p>○ 社会での問題解決の例を、学習の流れのイメージ図と同じ形式で示している。</p> <p>○ 各内容とも「学習を振り返ろう」の項目で学習した課題解決と生活や社会とのつながりについて考える内容を設けている。</p> <p>○ 第3学年で扱う統合的な問題解決については、内容「D情報の技術」の中に、内容「B生物育成の技術」との統合実習例を掲載し、統合的な問題解決の学習について具体的に例示している。</p> <p>○ 内容A～Dを学習した後に「技術分野の学習を振り返るとともに、持続可能な社会の構築に向けて、主体的に技術に関わる態度や、技術を工夫し創造する態度について確認できるようにしている。</p>	<p>○ 技術分野の学習過程の要素である「生活や社会を支える技術」、「技術による問題の解決」、「社会の発展と技術」の3つ全てを巻頭「技術分野の学習の流れ」において示し、各要素について4コマ漫画を使って説明するとともに、学習の流れのイメージ図を掲載している。</p> <p>○ 社会での問題解決の例を、学習の流れのイメージ図と同じ形式で示している。</p> <p>○ 各内容とも「学習を振り返ろう」の項目で学習した課題解決と生活や社会とのつながりについて考える内容を設けている。</p> <p>○ 第3学年で扱う統合的な問題解決については、内容「D情報の技術」の中に、内容「B生物育成の技術」との統合実習例を掲載し、統合的な問題解決の学習について具体的に例示している。</p> <p>○ 内容A～Dを学習した後に「技術分野の学習を振り返るとともに、持続可能な社会の構築に向けて、主体的に技術に関わる態度や、技術を工夫し創造する態度について確認できるようにしている。</p>

観点	視点	発行者	開隆堂出版
観点3 内容の構成・配列・分量	<p>⑤ 題材や資料等の配列・分量</p> <p>○ 総ページ数 306ページ 「生活や社会を支える技術」に関する分量 80ページ 「技術による問題解決」に関する分量 137ページ</p> <p>○ 「社会の発展と技術」に関する分量 30ページ 「知的財産の活用・創造」を掲載し、技術と知的財産について具体例を示している。 ○ 広島に関連する写真を1点扱っている。 【写真】 ・ 創造アイデアロボットコンテンツ広島県代表</p> <p>○ サイズ AB判 重さ 約610g</p>	<p>東京書籍</p> <p>教育図書</p> <p>○ 総ページ数 352ページ (うち技術ハンドブック 42ページ) 「生活や社会を支える技術」に関する分量 100ページ 「技術による問題解決」に関する分量 164ページ (うち技術ハンドブック 38ページ) ・ 「社会の発展と技術」に関する分量 16ページ</p> <p>○ 広島に関連する情報を1点扱っている。 【情報】 ・ 巻末資料「博物館に行ってみよう!」で名称を紹介している 「広島平和記念資料館」と「広島大学総合博物館」</p> <p>○ (本紙) サイズ A4変型 (204×264mm) 重さ 約625g (別冊) サイズ A4変型 (193×264mm) 重さ 約110g</p>	<p>○ 総ページ数 302ページ 「生活や社会を支える技術」に関する分量 118ページ 「技術による問題解決」に関する分量 114ページ</p> <p>○ 「社会の発展と技術」に関する分量 16ページ 各内容の終わりにコラムを掲載し、技術と知的財産や倫理について具体例を示している。 ○ 広島に関連する写真を2点、資料を1点扱っている。 【写真】 ・ 参考資料「世界最大規模の製鉄所(福山市)」の工場の様子 ・ 巻末資料「日本各地の伝統的な技・材料・工芸Map」の「広島細工」</p> <p>【資料】 ・ 参考資料「世界最大規模の製鉄所(福山市)」</p> <p>○ サイズ AB判 重さ 約570g</p>
観点6 実践的・体験的な学習に関する内容	<p>⑥ 実践的・体験的な学習の具体例の合計 (39)</p> <p>【内容「A材料と加工の技術」の具体例の数 (8)】 ・ リモコンラック ・ トラックユニット ・ 折り糊 ・ プリント整理箱 ・ ロッカー整理棚 ・ タブレットスタンド ・ 絵本ラック</p> <p>【内容「B生物育成の技術」の具体例の数 (8)】 ・ ナス ・ ジャガイモ ・ ダイコン ・ イネ ・ ラッカセイ ・ リーフレタス ・ パンジー ・ イチゴ</p> <p>【内容「Cエネルギー変換の技術」の具体例の数 (5)】 ・ 携帯型扇風機 ・ 自動点灯LEDライト ・ さくらんぼ収穫ロボット ・ ネットワークを利用した双方向性のある問題の解決 (6) ・ 地域紹介翻訳システム ・ クラス伝言板システム ・ 防炎マップ ・ 学校内チャットシステム ・ 施設確認システム ・ 中学生物知り博士</p> <p>【内容「D情報の技術」の具体例の数 (12)】 ・ ネットワークを利用した双方向性のある問題の解決 (6) ・ コンテンツのプログラミングによる問題の解決 (6) ・ 熱中症予防システム ・ 育苗システム ・ ロボット掃除機のモデル ・ 冷蔵庫開閉チャットカード ・ 福祉車両のモデル ・ さくらんぼ自動収穫ロボット</p> <p>【統合的な問題解決の具体例の数 (6)】 ・ 忘れ物防止システム ・ 地震時避難誘導システム ・ 自動車サポートシステム ・ ローン配送システム ・ トラッキング物流システム ・ 自動かん水システム</p>	<p>○ 実践的・体験的な学習の具体例の合計 (32)</p> <p>【内容「A材料と加工の技術」の具体例の数 (9)】 ・ 不思議な本立て ・ パンチングメタルスタンド ・ 調味料ホルダー ・ 便利なプランターラック ・ パーフェクトスマホスタンド ・ リモコンスタンドつき本立て ・ 小物ボックス ・ 2列小物スタンド ・ 2段小物ラック</p> <p>【内容「B生物育成の技術」の具体例の数 (6)】 ・ ベヒーリーフ ・ ミニダイコン ・ ミニトマト ・ コマツナの鉢栽培 ・ キュウリのプランター栽培 ・ 底層処理によるチューリップとパンジーの寄せ植え</p> <p>【内容「Cエネルギー変換の技術」の具体例の数 (6)】 ・ カンタンライト ・ ばくばくカム ・ ショベルカーのモデル ・ 災害時に役立つライト ・ コロコースター ・ ライトつきメガネスタンド</p> <p>【内容「D情報の技術」の具体例の数 (9)】 ・ 追いかけてゲーム ・ 数当てゲーム ・ ネットワークを利用した双方向性のある問題の解決 (4) ・ コンテンツのプログラミングによる問題の解決 (3) ・ PTAバザーの案内マップ ・ 簡単チャット ・ 単方向性の蓄積クイズ</p> <p>【統合的な問題解決の具体例の数 (2)】 ・ 自動点灯・消灯ライト ・ 自動かん水機 ・ 2足歩行ロボット ・ パットリチャージャ</p>	<p>○ 実践的・体験的な学習の具体例の合計 (29)</p> <p>【内容「A材料と加工の技術」の具体例の数 (7)】 ・ 一枚の板で製作する机の上を整理・整頓できるマルチラック ・ 規格材で製作する机の上を整理・整頓できるマルチラック ・ 安全性を重視したふみ台 ・ 調理スペースが広がる調味料ラック ・ 見ばえよく植物を収納する鉢入れ ・ 機能性を重視したカレンダーつきメモホルダー ・ 分類して収納できる文房具の整理箱</p> <p>【内容「B生物育成の技術」の具体例の数 (8)】 ・ 甘いあるミニトマトの栽培 ・ リーフレタスの養液栽培 ・ ラディッシュの容器栽培 ・ チューリップの促成栽培 ・ イネの容器栽培 ・ 乳牛の飼育(「動物の飼育」の具体例) ・ ドジョウの養殖(「水産生物の栽培」の具体例) ・ スギ人工林の育成</p> <p>【内容「Cエネルギー変換の技術」の具体例の数 (5)】 ・ 非常時に光る防災用ライト ・ 介助用ロボット・コンテスタを考えた設計 ・ 持ち運べるLEDライトスタンド ・ お手軽クリナー ・ 音声増幅器</p> <p>【内容「D情報の技術」の具体例の数 (8)】 ・ ネットワークを利用した双方向性のある問題の解決 (5) ・ コンテンツのプログラミングによる問題の解決 (5) ・ 安心して使えるメッセージ交換アプリ ・ ネット対戦型タイピング練習 ・ 防災地図アプリ ・ ルート検索アプリ ・ 英語の発音チェックアプリ</p> <p>【統合的な問題解決の具体例の数 (1)】 ・ 計画・制御のプログラミングによる問題の解決 (3) ・ 立ち入り禁止エリアを判断する金属回収ロボット ・ 自宅のセキュリティ対策-モニタリングによる防犯- ・ 自分の動きを計測するトレーニング補助装置</p> <p>【統合的な問題解決の具体例の数 (1)】 ・ ミニ植物工場(生物育成との統合)-コマツナの苗の育成-</p> <p>※ 内容「D情報の技術」の問題解決として位置づいている。</p>

観点	発行者			
	東京書籍	教育図書	開隆堂出版	
視 点	<p>⑦ 他教科や日常生活、社会との関連の示し方</p>			
観 点	<p>観点4 内容の表現・表記</p>	<p>○ 小学校で学習した内容や、中学校の他教科で学習する内容との関連については、その記載があるページに小学校マークや他教科マーク、リンクマーク、Dリンクマークを付すとともに、教科、学年、単元を示している。 【関連が示されている教科等の数】 <小学校> ・社会(2) ・算数(1) ・理科(5) ・図画工作(1) <中学校> ・国語(1) ・社会(1) ・数学(4) ・理科(23) ・保健体育(1) ・家庭(4) ・道徳(5) ○ 各内容の最初のページに、「他教科とのつながり」として、小学校や中学校他教科の学習内容との関連を示している。 ○ 日常生活における身近な物や、社会にある物を写真で示している。 【掲載例】 ・生徒机 ・消しゴム ・ビニルハウス ・植物工場 ・ドライヤー ・扇風機 ・信号機 ・スマートフォン</p>	<p>○ 小学校で学習した内容や、中学校の他教科で学習する内容との関連については、各章の最初にリンクマークを付すとともに、校種、教科を示している。 【関連が示されている教科等の数】 <小学校> ・国語(1) ・社会(2) ・算数(2) ・理科(4) ・生活(1) ・図画工作(2) ・総合(1) <中学校> ・国語(1) ・社会(7) ・数学(1) ・理科(8) ・音楽(1) ・美術(1) ・保健体育(3) ・家庭(2) ・道徳(2) ・総合(1) ○ 日常生活における身近な物や、社会にある物を写真で示している。 【掲載例】 ・弁当箱 ・ペットボトル ・ビニルハウス ・扇風機 ・自転車 ・スマートフォン ・ノートパソコン</p>	<p>○ 小学校で学習した内容や、中学校の他教科で学習する内容との関連については、その記載があるページに小学校マークや他教科マークを付すとともに、教科、学年、単元を示している。 【関連が示されている教科等の数】 <小学校> ・社会(2) ・算数(2) ・理科(4) ・外国語(1) ・プログラミング(1) <中学校> ・国語(1) ・社会(3) ・数学(1) ・理科(9) ・美術(1) ○ 各内容の最初のページに、「小学校との関連」、「中学校他教科との関連」として、小学校や中学校他教科の学習内容との関連を示している。 ○ 日常生活における身近な物や、社会にある物を写真で示している。 【掲載例】 ・割り箸 ・ペットボトル ・ビニルハウス ・植物工場 ・掃除機 ・自転車 ・スマートフォン ・エアコン</p>
⑧ 本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方	<p>○ キャラクターや吹き出しを使い、学習を進める際のポイントやヒントを示している。 ○ 作業等で安全や衛生に気を付ける箇所について、「安全」マークを25箇所(うち、「衛生」マークを13箇所)に付している。 ○ 環境に配慮することに関連する学習内容について、「環境」マークを12箇所示している。 ○ 災害に備えることに関連する学習内容について、「防災」マークを11箇所示している。 ○ 各内容の最初のページと巻末の「Dマークコンテンツ一覧」の右上に掲載しているQRコード(5箇所)を読み取ることで、学習内容と関連する動画や資料などがまとめられたウェブコンテンツの目次ページにアクセスできる。 ○ 工具や作業の説明において、生徒の視線に近い視点で撮影された写真を掲載している。</p>	<p>○ キャラクターや吹き出しを使い、学習を進める際のポイントやヒントを示している。 ○ 作業等で安全や衛生に気を付ける箇所について、「安全」マークを45箇所(うち、技術ハンドブック20箇所)、「衛生」マークを8箇所(うち、技術ハンドブック1箇所)に付している。 ○ 環境に配慮することに関連する学習内容について、「環境」マークを8箇所示している。 ○ 災害に備えることに関連する学習内容について、「防災」マークを2箇所示している。 ○ 各内容の題材例や、技術ハンドブックの基礎技能のページの右上に掲載しているQRコード(58箇所、うち技術ハンドブック15箇所)を読み取ることで、その各内容と関連する動画や画像などがまとめられたウェブコンテンツにアクセスできる。 ○ 工具や作業の説明において、生徒の視線に近い視点で撮影された写真を掲載している。</p>	<p>○ キャラクターや吹き出しを使い、学習を進める際のポイントやヒントを示している。 ○ 作業等で安全に気を付ける箇所について、「安全」マークを23箇所(うち、「環境」マークを22箇所)に付している。 ○ 環境や資源、エネルギーに配慮することに関連する学習内容について、「環境」マークを22箇所示している。 ○ 災害に備えることに関連する学習内容について、「防災」マークを8箇所示している。 ○ それぞれのページの右下に掲載しているQRコード(56箇所)を読み取ることで、各項目の学習内容と関連する動画や資料などが掲載されたウェブコンテンツに直接アクセスできる。 ○ 工具や作業の説明において、生徒の視線に近い視点で撮影された写真を掲載している。</p>	

視 点
観 点

④ 言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫
観点5 言語活動の充実

○ 「活動」、「調べてみよう」、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」、「話し合ってみよう」のマークを付し、言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動を促している。
【マークの教と具体例】
・活動 (26) ・調べてみよう (9) ・やってみよう (9)
・考えてみよう (32) ・話し合ってみよう (8)

内容等	具体例
A 材料と加工	等角図で描かれた立体を第三角法による正投影図で表現しよう。 生物育成の技術による問題解決を基に、生産者と消費者の両方の立場に立って、農薬の使用について話し合ってみよう。
B 生物育成	電源として利用しているコンセントと電池には、どのような違いがあるでしょうか。それぞれの特徴をまとめてみましょう。
C エネルギー変換	インターネットや自動的に仕事をする機器などによって、生活や社会はどのような便利になったか考えましょう。
D 情報	身の回りの製品に込められた技術の工夫やアイデアを調べ、発表しましょう。

○ 「やってみよう」のマークを付し、言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動を促している。
【マークの教と具体例】
・やってみよう (61)

内容	具体例
A 材料と加工	自分が設計をして製作をした作品を、グループで発表しよう！
B 生物育成	育ててみたい作物やその品種などを調べてかこう。また、その作物を育てる時の目標もかこう。
C エネルギー変換	巻末の設計計画表に記入してみよう。生活の中で、並行して複数の処理を進める例を考えて、アクリルパイプ図で表そう。
D 情報	

○ 「課題」、「調べてみよう」、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」、「話し合ってみよう」のマークを付し、言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動を促している。
【マークの教と具体例】
・課題 (37) ・調べてみよう (25) ・考えてみよう (19)
・話し合ってみよう (19) ・確認してみよう (1)
・やってみよう (3)

内容等	具体例
A 材料と加工	製作の計画を立ててみよう。作業時間と完成に至るまでの作業内容を考えて、工程表を作りましょう。 本来は夏に収穫されるトマトを、季節を問わず一年中食べられるようにするために、どのような工夫がされているだろうか。
B 生物育成	エネルギー変換の技術における「技術の光と影」の例を調べて、影の部分を小さくしながら光の部分を活用できるような使い方について話し合ってみよう。
C エネルギー変換	単純な絵を考えて、それをかく手順を文章や簡易図で説明してみよう。次にその文章だけを他の人に見せて、絵をかいてもらおう。
D 情報	技術についてこれまでに学習してきたことや、最近の技術や製品に関するニュースなどで、興味をもったことについて話し合ってみよう。

○ 「ブレインストーミング」や「KJ法」のルールや方法について説明し、学習活動に取り入れられることができるようにしている。

教科 [技術・家庭] 種目 [家庭分野]

令和3年度から使用する中学校用教科用図書・研究報告書

1 教科 [技術・家庭] 種 目 [家庭分野]

2 本市の実態や生徒の状況

- 本市は、大型商業施設やコンビニエンスストアが多くある地域がある一方、スーパーマーケットが近くにないという地域もあり、保護者や生徒の生活様式や価値観の多様化が見られる。また、山や川、豊かな自然環境に恵まれるとともに、太田川のデルタ地形に位置し、ほぼ全域に土砂災害危険区域または高潮・津波浸水想定区域があり、これまでも「平成30年7月豪雨」をはじめとした、自然災害が多く発生していることから、災害への知識と備えが必要な地域でもある。
- 技術・家庭科部会のアンケートによると、本市の生徒は、家庭分野の学習内容に興味・関心が高いものの、実生活の中にある問題をあまり感じておらず、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだし、その課題を自分の手で解決しようとする意欲に乏しく、学校で学んだ知識や技能を家庭生活に積極的に生かすことが十分できていないという課題がある。

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫
<主体的に学習に取り組む工夫>	② 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫 ③ 「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための示し方
<内容の構成・配列・分量>	④ 題材や資料等の配列・分量 ⑤ 実践的・体験的な学習を実施するための資料
<内容の表現・表記>	⑥ 他教科や小学校の学習内容との関連の示し方 ⑦ 本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方 ⑧ 「持続可能な開発目標」を意識させるための表記
<言語活動の充実>	⑨ 言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科 [技術・家庭] 種 目 [家庭分野]
 2 調査・研究の観点及び教科書の特徴

観点	発行者		
	東京書籍	教育図書	開隆堂出版
<p>① 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る工夫</p>	<p>○ 巻頭のガイダンスの中で、家庭分野の学習の目標を示している。また、編ごとに目標を示している。</p> <p>○ 学習の目標、導入課題、本文と展開し、節ごとに「ふりかえり」で、学習内容のまとめと自己評価をする欄を設けている。</p> <p>○ 学習内容の確認ができるように、編ごとに「学習のまとめ」を設けている。</p> <p>○ 学習する内容を「リンク」マークとともに、ページ、題材名を示している。</p> <p>○ ページ下部に「せいかつメモ」として学習内容に関する様々な情報を記載している。</p>	<p>○ 巻頭のガイダンスの中で、家庭分野の学習の目標を示している。</p> <p>○ 学習の目標、導入課題、本文と展開し、節ごとに「ふりかえり」で、学習内容の確認とまとめをする欄を設けている。</p> <p>○ 学習内容の確認ができるように、編ごとに「学習のふりかえり」を設けている。</p> <p>○ 学習する内容を「リンク」マークとともに、ページ、題材名と関連する場合は、文章内にページ数を示している。</p>	<p>○ 巻頭のガイダンスの中で、家庭分野の学習の内容を示している。</p> <p>○ 学習の目標、導入課題、本文と展開し、章ごとに「ふりかえり」で、学習内容の確認とまとめをする欄を設けている。</p> <p>○ 学習内容の確認ができるように、編ごとに「学習のまとめ」を設けている。</p> <p>○ 学習する内容が、異なる内容と関連する場合は、「リンク」マークとともに、ページ、題材名を示している。また、同じ内容と関連する場合は、文章内にページ数を示している。</p> <p>○ ページ下部に「豆知識」として学習内容に関する様々な情報を記載している。</p>
<p>② 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫</p>	<p>○ 家庭分野のガイダンスにおいて、学習の進め方がイメージできるように、「問題を解決する筋道—家庭分野の学習の進め方—」を示している。</p> <p>○ 各編の最初に、「小学校家庭科での学習」と「この編で学ぶこと」を学習の流れに沿って示している。</p> <p>○ 編末の「学習のまとめ」に「3 生活に生かそう」を設け、生徒が学習したことを実生活に生かせるようにしている。</p> <p>○ 発展的な学習については、各学習に関連する内容に「発展」のマークを付し、9例示している。</p> <p>○ 巻末に「生活の課題と実践」をまとめて示しており、「生活の課題と実践の進め方」として、「問題を解決する筋道」と関連させている。また、課題の決め方、まとめ方の例を示している。 【「生活の課題と実践」の例：12例】 【まとめ方の例】 ・レポート ・ポスター ・新聞形式 ・コンピュータ</p> <p>○ 「家庭分野の学習を終えて」に、今後の生活や学習につなげるための振り返りを掲載している。</p>	<p>○ 巻頭の「自分の課題をもって学習に取り組もう！」において、学習の進め方がイメージできるように、「課題解決学習の流れ」を用いて示している。</p> <p>○ 各編の最初に、「自立度チェック」を設け、今の自分を振り返ることができるようにしている。</p> <p>○ 巻末に「学びを生かそう」を設け、「課題設定のヒント」や「私の課題の例」として、課題の設定例と取り組み方の流れを示している。</p> <p>○ 発展的な学習については、各学習に関連する内容に「発展」のマークを付し、7例示している。</p> <p>○ 巻末に「生活の課題と実践」をまとめて示しており、「生活の課題と実践」の学習の流れを課題解決の流れと関連させている。 【「生活の課題と実践」の例：8例】</p> <p>○ 「家庭分野の学習をふり返ろう」に、各編についての振り返りを記述する欄を設けている。</p>	<p>○ 家庭分野のガイダンスにおいて、学習の進め方がイメージできるように「主体的・対話的で深い学びをしよう」を示している。</p> <p>○ 各内容の最初のページに、「学習前に、今のあなたの興味・関心を書きましよう。」と「学習を終えて、何に関心を持ちましたか。」の記述欄を設け、学習前と学習後の比較ができるようにしている。</p> <p>○ 巻末に「ふりかえり」や「生活にいかそう」を設け、学習した内容を振り返り、実生活に即した学習ができる問いを設けている。</p> <p>○ 発展的な学習については、各学習に関連する内容に「発展」のマークを付し、9例示している。</p> <p>○ 巻末に「生活の課題と実践」をまとめて示しており、「生活の課題と実践の進め方」として学習の流れを示している。また、実践のまとめ方の例を示している。 【「生活の課題と実践」の課題例：12例】 【まとめ方の例】 ・レポート ・ワークシート ・新聞やポスター ・プレゼンテーションソフト ・ポートフォリオ ・作品</p> <p>○ 「学んだことを次に生かそう！」に、3年間の学びをこれからの自分に生かしていくための記述を掲載している。</p>

発行者	
東京書籍	教育図書
開隆堂出版	
<p>③ 視点 「生活の営みに係る見方・考え方の示し方」を意識させるため</p>	<p>○ 家庭科のガイダンスにおいて、「生活の営みに係る見方・考え方」の例や対応するマークを示している。 ・「協力・協働」 ・「健康・快適・安全」 ・「生活文化の継承・創造」 ・「持続可能な社会の構築」 ○ 各編の最初に、学習の中で使う「生活の営みに係る見方・考え方」の視点とそれに対応するマークを示している。</p>
<p>④ 視点 題材や資料等の配列・分量</p>	<p>○ 内容の配列は、ガイダンス → B食生活・衣生活・住生活 → A家族・地域 → 生活の課題と実践 C消費生活と環境 → A家族・地域 → 生活の課題と実践 の順で配列している。 ○ 「プロに聞く」で、学習内容に関連する職業に就いている人からのメッセージを16個掲載している。 ○ 災害への備えに関する学習には「防災」マークを付しており、A家族・地域、B衣生活・住生活において扱っている。 ○ 巻末付録に「防災・減災手帳」と「子どもの視界体験眼鏡」を設けている。 ○ 広島に関する記載が5カ所ある。 ・ひろしまそだちの写真 ・広島かきの写真 ・カキの土手鍋の写真 ・備後餅の写真 ・安芸郡熊野町の生徒の写真(幼児と触れ合おう) ○ サイズ AB判 重量 約605g</p>
<p>観点 内容の構成・配列・分量</p>	<p>○ 内容の配列は、ガイダンス → A家族・地域 → B食生活・衣生活・住生活 → C消費生活と環境 → 生活の課題と実践 の順で配列している。 ○ 「先輩からのエール」で、学習内容に関連する職業に就いている人からのメッセージを18個掲載している。 ○ 災害への備えに関する学習には「防災」マークを付しており、A家族・地域、B衣生活・住生活において扱っている。 ○ 巻末の折り込みページに、防災・減災についてまとめた「災害から『いのちと生活』を守るために」を設けている。 ○ 広島に関する記載が4カ所ある。 ・広島菜の文字 ・広島菜の写真 ・牡蠣の土手鍋の写真 ・宮島細工(しやまじ)の写真 ○ サイズ AB判 重量 約567g</p>

観点	視点	東京書籍	教育図書	開隆堂出版
<p>観点3 内容の構成・配列・分量</p>	<p>⑤ 実践的・体験的な学習を実施するための資料</p>	<p>○ 野菜・いもの調理、肉の調理、魚の調理の順に、実習例を45例と、幼児のおやつ7例を示している。 (蒸し料理の例) ・ぶた肉と野菜の重ね蒸し・蒸しどりのごまだれ ・蒸し野菜のサラダ・野菜の蒸しパン(蒸し器) (だしを使った和食の例) ・真だくさんみそ汁・野菜の焼き浸し ・キャベツと油揚げのみそ汁・かきたま汁 ・いりどり(がめ煮、筑前煮) ○ 調理手順の中に「ポイント」マークを付し、調理上でのポイントを示している。 ○ 調理実習例とともに、組み合わせ例とその作り方も示している。 ○ 布を用いた製作について、実習例を16例と衣服のリフォーム例を5例示している。 ○ 幼児との触れ合い体験の実習について、3事例示している。 ○ 家庭分野のガイダンスにおいて、内容ごとに、小学校と中学校での学習内容を示している。</p>	<p>○ 肉の調理、魚の調理、野菜の調理の順に、実習例を44例と、幼児のおやつ5例、災害時の調理例を示している。 (蒸し料理の例) ・シユウマイ(蒸し器) ・魚のホイイル蒸し・蒸し野菜サラダ ・蒸しパン(蒸し器) (だしを使った和食の例) ・肉じゃが・筑前煮(しいたけ)・ひじきのいため煮 ・かきたま汁・卵焼き ○ 調理手順の中に「ポイント」マークを付し、調理上でのポイントを示している。 ○ 調理実習例とともに、「私のアレンジ」や組み合わせ例を示している。 ○ 布を用いた製作について、実習例を7例示している。 ○ 幼児との触れ合い体験の実習について、3事例示している。</p>	<p>○ 肉の調理、魚の調理、野菜の調理、あと1品つくってみよう(副菜、汁物、電子レンジ調理)、おやつやデザート順に、実習例を43例示している。 (蒸し料理の例) ・蒸し野菜のサラダ(蒸し器) ・米粉蒸しパン(蒸し器) (だしを使った和食の例) ・だいこんのみそ汁 ・青菜の卵とじ ・大豆とひじきの煮もの ・なめこのみそ汁 ・かきたま汁・とん汁 ○ 調理手順の中に「Q1」や「Q2」などを付し、それに対応した調理のポイントと「調理方法のQ&A」の形で示し、「なぜ〜?」と考へさせるように示している。 ○ 調理実習例とともに、組み合わせ例とその作り方も示している。 ○ 視覚的、科学的に捉え、実感を伴って学習できるように、栄養素を調べる実験を付けている。 ○ 布を用いた製作について、実習例を9例示している。</p>
<p>観点4 内容の表現・表記</p>	<p>⑥ 他教科や小学校の学習内容との関連の示し方</p>	<p>○ 家庭分野のガイダンスにおいて、内容ごとに、小学校と中学校での学習内容を示している。 ○ 中学校の各教科等の学習内容や小学校の各教科等の学習内容との関連、および家庭分野の他の章などに関連する内容があるものについては「リンク」マークを付し、教科名、題材概要を示している。 ○ 他の学習項目や技術分野など、関連する内容のものには「リンク」マークを付している。 ○ 「小学校」マークを付し、小学校家庭科での学習内容をキーワードで示している。 ○ 巻末に各教科とのつながりをまとめている。 【関連の個数(Dマークでのリンク含む)計58個 ・小学校(18)・国語(1)・書写(1) ・社会[地理](6)・社会[公民](4)・数学(1) ・理科(2)・美術(2)・保健(6) ・技術(4)・道徳(13)</p>	<p>○ 幼児との触れ合い体験の実習について、5事例示している。 ○ 家庭分野のガイダンスにおいて、小学校と中学校での学習内容を、地域や社会との関連(空間軸)やこれまでとこれから(時間軸)と関連させて示している。 ○ 中学校の各教科等の学習内容や技術分野との関連については「他教科」、「他分野」マークを右ページ上部に付し、教科名、題材概要を示している。 ○ 他の学習項目や技術分野など、関連する内容のものには「リンク」マークを付している。 ○ 「小学校での学び」の欄を設け、小学校家庭科での学習内容を短文で確認している。 【関連の個数】計93個 ・小学校(21)・社会[地理](17)・社会[歴史](1) ・社会[公民](16)・理科[第1分野](3) ・理科[第2分野](4)・保健(11)・技術(10) ・道徳(8)・特活(4)・総合(3)</p>	

発行 者		東京書籍		教育図書		開隆堂出版	
観点	観点	観点	観点	観点	観点	観点	観点
観点4	内容の表現・表記	⑦ 本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方	⑧ 「持続可能な開発目標」を意識させるための表記	⑨ 「言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫	⑩ 言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫	⑪ 「言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫	⑫ 「言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫
観点4	内容の表現・表記	<ul style="list-style-type: none"> ○ イラストやキャラクターの吹き出し、囲み、図解等で、学習内容の注意事項や考えのヒントを示している。 ○ 見開きになっている調理実習のページでは、完成した写真が右ページ上部に配置している。 ○ 6つの基礎食品群の例を写真とともに、1群25例、2群13例、3群23例、4群35例、5群17例、6群10例示している。 ○ 食品群別摂取量のめやすの食物大の例を写真とともに26例示している。 ○ 野菜の切り方の例を9種類示しており、大根の輪切りから、更に他の切り方を写真とともに掲載している。 ○ 学習に関連する動画やシミュレーションなどのウェブコンテンツが、「Dマーク」で示されている。「Dマーク」で見ることのできるコンテンツ一覧を掲載し、1つのQRコードを読み取ることのできる学習内容と関連する動画や資料などがまとめられたウェブコンテンツの目次ページにアクセスできる。 ○ 裏返しに見開きで、SDGsの17の目標のマークを示すとともに「C編消費生活・環境」の「持続可能な消費生活を指している」において、SDGsについての記載がある。 ○ 各編の最後に(5編を除く)、「持続可能な〇〇を指している」の章を設け、これからの学習を深められるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「C編消費生活・環境」の「持続可能な消費生活を指している」の目標のマークを示すとともに、持続可能な社会を目指すための取組について考える活動を設けている。 ○ 「C編消費生活・環境」の最初のページに見開きで、SDGsの17の目標のマークを示すとともに、持続可能な社会を目指すための取組について考える活動を設けている。 ○ 各節の冒頭に、「考えてみよう」や「話し合ってみよう」などの導入課題を示し、自分の生活を見つめるきっかけを設けている。 ○ 各編の最後に(5編を除く)、「持続可能な〇〇を指している」の章を設け、これからの学習を深められるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ イラストや6人のキャラクターの吹き出し、囲み、図解等で、学習内容の注意事項や考えのヒントを示している。 ○ 見開きになっている調理実習のページでは、完成した写真が左ページ上部に配置している。 ○ 6つの基礎食品群の例を写真とともに、1群33例、2群12例、3群20例、4群37例、5群18例、6群10例示している。 ○ 食品群別摂取量のめやすの食物大の例を写真とともに36例示している。 ○ 野菜の切り方の例が、野菜の種類ごとに17種類示している。また、切った後の野菜の食物大写真を掲載している。 ○ 学習に関連する動画やホームページを参照できるQRコードが、右ページ上部に示されている。QRコードを読み取ること、学習内容と関連する動画や資料などがまとめられたウェブコンテンツの章ごとの目次ページにアクセスできる。 ○ 「C編消費生活・環境」の最初のページに見開きで、SDGsの17の目標のマークを示すとともに、持続可能な社会を目指すための取組について考える活動を設けている。 ○ 各節の冒頭に、学習の導入として、キャラクターの対話を示し、自分の生活を見つめるきっかけを設けている。 ○ 各編の最後に(5編を除く)、「持続可能な〇〇を指している」の章を設け、これからの学習を深められるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大きなイラストやキャラクターの吹き出し、囲み、図解等で、学習内容の注意事項や考えのヒントを示している。 ○ 「体に入った栄養素のゆくえ」では、見開き2ページを使い、消化吸収された栄養素のめぐりを、大きなイラストで視覚的に理解できるようにしている。 ○ 見開きになっている調理実習のページでは、完成した写真が左ページ上部に配置している。 ○ 6つの基礎食品群の例を写真とともに、1群12例、2群7例、3群11例、4群14例、5群8例、6群11例示している。 ○ 食品群別摂取量のめやすの食物大の例を写真とともに38例示している。 ○ 野菜の切り方の例を、使用する野菜の名前とともに9種類示している。また、1本のきゅうりから7種類の切り方を写真で示している。 ○ 学習に関連する動画やホームページを参照できる内容にはQRコードが付しており、それに対応したQRコードが右ページ下部に示されている。QRコードを読み取ること、QRマークに対応した内容に関する動画や資料などが掲載されたウェブコンテンツに直接アクセスできる。 ○ ガイダンスでSDGsの17の目標のマークを示すとともに、「C編消費生活・環境」の「世界の国々と連携した持続可能な生活の創造」において、SDGsについての記載がある。 ○ 各題材の最後に、持続可能な社会をテーマとして、それぞれの学習内容と関わり深いSDGsの目標を具体的に取り上げ、話し合わせる活動を設け、これからの学習を深められるようにしている。 ○ 各節の冒頭に、二重線の枠で示された「思い出してみよう」や「考えてみよう」などの導入課題を示し、自分の生活を見つめるきっかけを設けている。 ○ 各編の最後に(5編を除く)、「持続可能な〇〇を指している」の章を設け、これからの学習を深められるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ スニーカーが欲しいとき、あなたはどのようなところで購入しますか。それはなぜですか。 ○ 「考えてみよう」や「話し合ってみよう」などのマークを付し、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動を取り上げている。 ○ 「考えてみよう」14例 ・ 「話し合ってみよう」18例 ○ 「やってみよう」13例 ・ 「発表しよう」7例 	
観点5	言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各節の冒頭に、「考えてみよう」や「話し合ってみよう」などの導入課題を示し、自分の生活を見つめるきっかけを設けている。 ○ 各編の最後に(5編を除く)、「持続可能な〇〇を指している」の章を設け、これからの学習を深められるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫 ○ 「言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各節の冒頭に、学習の導入として、キャラクターの対話を示し、自分の生活を見つめるきっかけを設けている。 ○ 各編の最後に(5編を除く)、「持続可能な〇〇を指している」の章を設け、これからの学習を深められるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各節の冒頭に、「考えてみよう」や「話し合ってみよう」などの導入課題を示し、自分の生活を見つめるきっかけを設けている。 ○ 各編の最後に(5編を除く)、「持続可能な〇〇を指している」の章を設け、これからの学習を深められるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫 ○ 「言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫 ○ 「言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫